

## 令和5年度第2回 かがしま外国人材受入活躍推進会議の結果（概要）

外国人材政策推進室

- 1 日時 令和6年2月15日（木）13:30～16:00
- 2 場所 ホテルウェルビューかごしま2階 潮騒
- 3 関係者 27名（経済・業界団体、監理団体、有識者等、国、市町村、県等）
- 4 内容
  - (1) 外国人材に関する取組
    - ① 外国人材の受入活躍推進に向けた県の取組
    - ② 国機関（福岡出入国在留管理局）の取組
  - (2) 講演
    - 【テーマ】外国人材地域定着に向けた協働の可能性と課題
    - 【講師】鹿児島大学 法文学部 准教授 酒井 佑輔 氏
  - (3) 外国人材の地域定着に係る取組について
    - ① いちき串木野市 企画政策課 企画調整係 主事 西 弥咲季 氏
    - ② 県社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 瀬戸口 誠 氏
    - ③ 社会福祉法人 隼仁会 事務長 河野 武男 氏

### 【質疑応答】

（質疑）鹿児島大学法文学部

地域への定着に関し、行政や大学等に対しての要望は何か。

（回答）県社会福祉協議会

地域で活動していると多文化共生の考え方が、住民に浸透していないと感じる。教育の場において、多文化共生について考える機会を設けることは重要である。

地域定着への取組は、一過性のもものでは意味がないことから、継続して事業を実施していくために、行政に対しては事業のバックアップや、事業の周知の際に協力をいただきたい。

（回答）社会福祉法人 隼仁会

県の「外国人材が安心して働けるかごしま企業助成事業」を活用し、日本

語学習や研修旅行を実施している。

外国人材の介護福祉士の資格を取得したい、日本語能力試験の高いレベルに合格したいという希望に対し、介護福祉士向けの勉強や日本語能力試験の勉強などができる環境整備に係る助成をいただけると、外国人材も喜ぶのではないか。

#### (4) 意見交換

##### 【テーマ】外国人材の地域への定着

###### ・ 枕崎市

市では、認知の前に、近隣市の南さつま市のSLAに依頼して、日本語教室を実施している。市民同様、マイナンバー制度の説明や、国民年金、ごみの分別の説明など、監理団体を通じて、技能実習生の方を中心に説明している。

コロナ以前、地域への定着は、地域の市民運動会、地域ごとの綱引きなどを実施し、市民は外国人材を認知していたと思う。

具体的に、行政が地域と外国人材の交流機会を設けることは難しいが、地域においては10数年前から自然に取り組んでいる。

コロナによって運動会などの行事等がなくなっているが、来年は秋祭りを開催し、秋の盆踊り大会を開催しようと考えている。それに参加してもらえよう、技能実習生の方と一緒に踊りの練習を行うなど、交流を深めていきたい。

###### ・ T & T 事業協同組合

毎年、始良市で防災訓練が行われており、企業と実習生と、当組合と一緒に参加し、地域の方々とその場で交流するほか、炊き出し等で、交流を深めている。

以上